



赤とんぼの
来た道

サッカーボールと蝶

長坂幸夫
Sachio Nagasaka

昔日への想い、日々の輝きが
色褪せないように...

人生の道程を歩む中で、大切な人との別れを経験する。その痛みを乗り越え、未来を信じて進む。日々の小さな幸せを大切に、大切な人との思い出を心に刻み、色褪せないように生きていく。人生の道程を歩む中で、大切な人との別れを経験する。その痛みを乗り越え、未来を信じて進む。日々の小さな幸せを大切に、大切な人との思い出を心に刻み、色褪せないように生きていく。

第一章 愛しき動物たち

- 1 窓辺の夜太郎 14
- 2 愛猫・タマとコロ 17
- 3 アヒルと少年 36
- 4 オオムラサキと少年 52
- 5 ベニシジミ 59
- 6 私のヘルマン・ヘッセ 62
- 7 金太郎のこと 68
- 8 ゆず湯——長坂裕子 83

第二章 自然への憧憬

——自然を見つめた青年期の思い

- 1 霧ヶ峯 88
- 2 三里塚御料牧場 91
- 3 烏帽子岳 94
- 4 通勤電車 97

第三章 第二の故郷・仁科三湖

——私達の手で旧家の土蔵を改造した研究所

- 1 仁科三湖生物研究所事始めの記 110
- 2 仁科三湖生物研究所二十年の環境変化 119
- 3 ハナノキ 122
- 4 ゲレンデの自然 125
- 5 海ノ口散策 128
- 6 土蔵ミレニアム 131

第四章 サッカーとの出会い

——私の人生を支配した競技

- 1 創作「ある歴史」 136
- 2 私のサッカーの源流 141
- 3 サッカーへの感謝 145
- 4 アメリカのサッカースタジアム——ローズボウルのユーカーの木 149
- 5 クリックスヤスタ追憶記 154
- 6 アテネオリンピック視察旅行記 160
- 7 サッカー競技規則第一条・謎の数字 169
- 8 RA東京十年 174

第五章 熱中教諭時代

——クラブ活動は「人生の宝物」

- 1 板橋区立西台中学校（昭和三十二年四月～三十八年三月） 184
- 2 都立三鷹高等学校（昭和三十八年四月～四十三年三月） 188

- 3 都立青山高等学校（昭和四十三年四月～四十六年十一月） 192
- 4 都立保谷高等学校（昭和四十六年十二月～五十三年三月） 196
- 5 都立南多摩高等学校（昭和五十三年四月～五十八年十月） 200

第六章

活眼 教頭時代（昭和五十八年十一月～平成元年三月）

——人間理解こそ教育の原点

- 1 秘めたる生徒の能力の発見 206
- 2 PTA会報 206
- 3 広島にて——修学旅行文集への寄稿文 215

第七章

挑戦 校長時代（平成元年四月～平成五年三月）

——おほむらさきの舞う学園で

- PTAニュース「おほむらさき」より 222
- 1 オオムラサキの学園に着任して 222
- 2 シリーズ「わが校風と伝統に磨きをかけよう」 223

第八章 人生これ勉強

- 1 「旦那、まだ勉強するのかね」 233
- 2 旅に病んで夢は枯野をかけ廻る——書簡に見る芭蕉とその弟子・洒堂 237
- 3 踊れる幸せ——七十歳の初舞台 247

第九章 父 長坂勝一の思い出

——激動の半世紀

- 1 父とスポーツ 250
- 2 父と音楽 252
- 3 父と「自由」 252

第十章 ファミリーツリー

——アメリカへ渡った男・長坂菊次郎の生涯

- 1 プロローグ 256
- 2 二十世紀末に起こった「奇跡」 257
- 3 菊次郎にまつわる「伝説」 260
- 4 菊次郎渡米の謎 261
- 5 日本人移民の誤算 267
- 6 アメリカ東部へ向かう 269
- 7 日本に届けられた婚姻届 270
- 8 戸籍に載らなかったトーマスとドリス 272
- 9 菊次郎を襲った悲劇 274
- 10 甥・勝一に送った手紙 276
- 11 婿、娘との確執 279
- 12 「人生は失敗だった」と告白 283
- 13 さすらいの菊次郎 289
- 14 父を語るドリスの手記 307
- 15 孫娘・メリー・アンの語る菊次郎 319

- 16 孫娘・ローレインの語る菊次郎 326
- 17 菊次郎の晩年 331
- 18 ファミリーツリー 333
- 19 開祖・長坂伊三郎覚え書き 340
- 20 始祖・長坂血鎚九郎覚え書き 343
- 21 ニュージャーシーへの最初の旅 346
- 22 赤とんぼインニュージャーシー 357
- 23 二度目のニュージャーシー訪問 360
- 24 エピローグ 365

あとがき

著者プロフィール

長坂 幸夫 (ながさか さちお)

1932年、東京都に生まれる。

1952年、東京都立北園高等学校卒業、1957年、東京教育大学農学部卒業。
板橋区立西台中学校教諭(～1952年)、東京都立三鷹高等学校教諭(～1963年)、東京都立青山高等学校教諭(～1968年)、東京都立保谷高等学校教諭(～1971年)、東京都立南多摩高等学校教諭(～1978年)、東京都立拝島高等学校教頭(～1983年)、東京都立調布北高等学校校長(～1989年)。

東京都サッカー協会常務理事、東京都サッカー協会審判委員長、関東サッカー協会理事、関東サッカー協会審判委員長、日本サッカー協会審判委員会委員を務める。

現在、東京都サッカー審判協会会長。

Tai-k
1968. 4月
2
1971. 3月

赤とんぼの来た道—サッカーボールと蝶

2006年5月15日 初版第1刷発行

著者 長坂 幸夫

発行者 瓜谷 綱延

発行所 株式会社文芸社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-1

電話 03-5369-3060 (編集)

03-5369-2299 (販売)

印刷所 株式会社平河工業社

©Sachio Nagasaka 2006 Printed in Japan

乱丁本・落丁本はお手数ですが小社業務部宛にお送りください。

送料小社負担にてお取り替えいたします。

ISBN4-286-01126-7

JASRAC 出0003131-601

長坂孝夫

